

国
問

国
語

令和二年度

注
意

- (1) 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。
- (2) 問題は一冊(本文八ページ、下書用紙は一枚)、解答用紙は三枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので引き抜いて使ってよい。
- (3) 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。
(例) 受験番号5001番の場合

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---
- (4) 解答は解答用紙の所定の位置に書くこと。他の所に書いても無効である。字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。解答文はたて書きとする。
- (5) 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使ってはいけない。
- (6) 書き損じても、かわりの用紙は交付しない。
- (7) 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

問題一 次の記事を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

— 信原幸弘『情動の哲学入門 価値・道徳・生きる意味』

問い一 傍線A・B・C・D・Eのカタカナで書かれた語句を漢字で書きなさい。

問い二 傍線ア「仕事人モード」とあるが、それはどのような状態か、説明しなさい(三〇字以内)。

問い三 傍線イ「そのような情動を抱くことには何か根本的な問題があるように思われる。」とあるが、「根本的な問題」とはどのようなことか。文章全体をふまえて答えなさい(三〇字以内)。

問い四 傍線ウ「接客業は感情労働なのである。」とあるが、筆者は少し後の段落で、医師の仕事が感情労働ではないように、「接客業もまた、本来は感情労働ではないのである。」と述べている。なぜそのように言えるのか、文章全体およびこの後に予想される論理展開をふまえて説明しなさい(五〇字以内)。

問題二 次の記事を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

権の
著作
保護
観点
から、
公開
して
いま
せん。

山路愛山「明治文学史」

(注) 井上哲次郎(一八五五～一九四四) 哲学者。帝国大学教授。

(注) 高橋五郎(一八五六～一九三五) 語学者、評論家、翻訳家。

(注) 国民之友 雑誌。評論を多く掲載した。

問い一 傍線一「去りながら博學畢竟^{ひじきよう} 拝むべき者なりや否や。」を現代語に訳しなさい。

問い二 傍線二「是豈^{いし}衣裳^{いしやう}を拜んで人品を忘るる者に非ずや。」とあるが、このたとえで筆者が批判したいのはどういうことか、簡潔に答えなさい(二五字以内)。

問い三 筆者の考える「才子」とはどのようなものか。文章最終行にある「学者先生」と対比しつつ答えなさい(五〇字以内)。

問題三 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

問い 右の文章を要約しなさい(二〇〇字以内)。

著作権保護の観点から、公開していません。

—— 鷺田清一『老いの空白』